



いっしょに考えましょう「生理の貧困」

お金の面だけではなく、家庭環境や情報不足など、様々な要因が背景にあるのが『生理の貧困』の特徴です。

経済的貧困

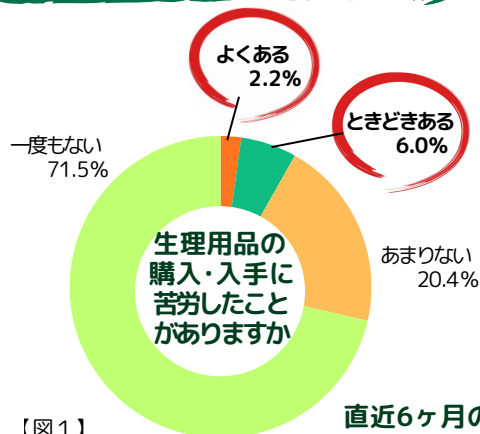
経済的な理由により生理用品を買えないこと

家族関係の貧困

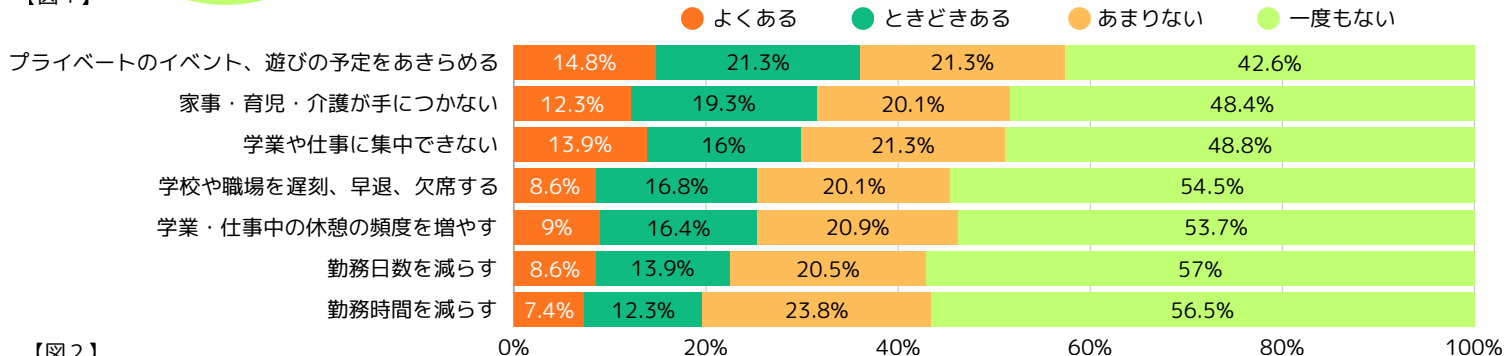
生理や生理痛について家族に話せないこと
話しても生理用品等を購入してもらえないこと

知識の貧困

生理は恥ずかしいもの・隠すもの
と思うこと
衛生的な使用方法や廃棄方法等を知らないこと



【図1】 直近6ヶ月の間に生理用品を購入・入手できないことが原因で経験したこと



【図2】

生理は、約28日周期でおおよそ4～7日間続きます。腹痛や頭痛のある人、動くことさえつらい人、普段通りの生活が送れる人、量が多い人、少ない人など、その状態は人によりさまざまです。でも、大なり小なり「しんどい」ということは、みんな同じ。

必要な人が、必要な時に、だれにも遠慮せずに生理用品を手にする環境を整え、生理の「しんどい」を少しでも和らげるサポートをしたいと私たちは考えています。

いっしょに考えましょう

トイレに

トイレにトイレットペーパーがあるのは、なぜだろう？

☒ みんなが使います

生理用品がないのは、なぜだろう？

☒ 生理中の女性には必要だけど…？

市の取組み

庁舎等の女性用トイレに生理用品を設置

窓口で生理用品(昼用・夜用)を無料配布

市内の小中学校に生理用品(昼用)を配布

生理の「しんどい」にサヨナラを



※ 生理用品には生理用ナプキン、タンポン、カップ等さまざまな種類がありますが、ここでは、生理用ナプキンを指しています。
※ 「生理の貧困」には、生理用品のほか、生理用下着や月経痛を和らげる薬等の購入・入手困難も含まれます。
※ 生理の「しんどい」を和らげるサポートとして、生理用ナプキンを必要なときに手にする環境づくりを目指しています。